

(ISC)²®がCISSP®認定試験問題をより厳密に

(ISC)² エグゼクティブ・ディレクター、W.ホード・ティプトン, CISSPによる
(ISC)² ブログへの投稿より

(ISC)²では、情報セキュリティ認定のゴールドスタンダードである(ISC)²の評価を維持する重要なプロセスの一環として、認定試験問題の厳密な評価と更新を頻繁に実施しています。最近実施されたCISSP認定試験の評価の結果、インタラクティブなドラッグ & ドロップ問題やホットスポット問題など、革新的な方式を新たに加えることで、問題方式の充実を図りました。これらの新方式の問題により、より広範囲な知識、スキルのベースを測定でき、文字ではなく図を使って実環境を表すことで、より高い認知レベルを判断できます。

ドラッグ & ドロップ問題では、受験者は、視覚的に表示された回答選択肢の中から一つまたは複数の回答をドラッグし、それらをやはり視覚的に表示された正解枠にドロップします。

受験者は回答選択肢から任意の順番で回答を選択していくため、ドラッグ & ドロップ問題は従来の多肢選択問題よりはるかに困難で、問題の内容を十分理解せずに正解に至る確率を減らします。

ホットスポット問題では、受験者は画像の選択肢または図の中から正しい回答をクリックします。この問題では、ユーザーフレンドリーな画像により、文字のみの多肢選択問題とくらべ、受験者の職務上での経験がより確実に反映されます。

認定試験に視覚的な手がかりを取り入れることで、受験者は中核となる知識に基づき正しい回答を選択することができます。

すべての(ISC)²の認定試験をコンピューターベースの試験環境で実施することで、問題の構造を変更し、よりパフォーマンススペース、革新的、視覚的、そして実質的なものにすることができました。

従来の多肢選択問題と同様、これらの新方式問題の正解は一つのみです。よってCISSP試験の全問題のスコアの配分は均等なまま、試験時間の延長もなく、新方式問題を取り入れることができます。

(ISC)²は、新たなテスト技術と特徴の導入により、経営者、専門家にとっての情報セキュリティ産業のゴールドスタンダードであるCISSP認定の位置付けを確実に維持します。

受験者やメンバーの皆様からの、これらの変更に関するご意見をお待ちしております。新CISSP試験方式に関するさらに詳しい情報は、以下のサイトをご参照ください。

<https://www.isc2.org/innovative-ciissp-questions/Default.aspx>. (英語)

=====

翻訳元: http://blog.isc2.org/isc2_blog/2014/02/isc%C2%B2-enhances-the-rigor-of-ciissp-certification-exam-questions.html

※英語以外の言語の試験への新方式の導入は2015年を予定しております。

=====